

令和5年1月12日

第50回旭川クロスカントリースキー大会参加者各位

旭川スキー連盟 会長 山下 裕久  
旭川スキー連盟 代表 中筋 一之

## 「第50回旭川クロスカントリースキー大会」タイム訂正のお詫び

令和5年1月4日（水）に開催いたしました、第50回旭川クロスカントリースキー大会オープンの部、小学生6年男子のタイムについてゴール後に、B i b 9 2番の選手と保護者から、下記の内容の問い合わせがあり、次の対応をとらせていただきました。

### 記

#### 問い合わせ内容

ゴール後に、「速報の順位（2位）と公式掲示板に掲示している非公式記録の順位（5位）と違っているがどうしてか」と計時計算係に問い合わせがありました。

係が、「速報後に非公式記録が変更になることがあるので、非公式記録が正しいです」と回答いたしました。その後、非公式記録掲示後から15分が経過いたしましたので、公式記録となりました。

また、公式記録確定後にB i b 9 2番の選手がB i b 9 1番の選手を抜いてゴールしたことが判明し、競技としては成立しておりますが、競技委員長、計時計算係、ビデオ担当者で確認したところB i b 9 2番のタイムが誤りであることがわかりました

#### タイム計測の誤りの理由

ゴール後の速報はAタイマー（CT400）で計測しており、そのタイムはが速報に掲示されます。B i b 9 2番の選手がゴールするときに、4人の選手が競ってゴールする状況でした。Aタイマーのフィニッシュオペレーターが信号を正確にとることが出来なく、Bタイマー（CT500）で確認したところ、Bタイマーのフィニッシュオペレーターは信号をとることが出来ていたため、Bタイマーのタイムを採用しました。入力の際に、本来であれば、「スタート時刻とフィニッシュタイムを入力」するところをフィニッシュタイムのみの入力での処理したことにより、B i b 9 2番の選手のタイムが誤って入力され記録となりました。

B i b 9 2番のタイムは以下の様に変更になります。

訂正前 13.50.7 →→ 訂正後 13.20.0
----------------------------

旭川スキー連盟としては、調査結果を競技委員長が直接本人および保護者へ説明と謝罪をさせていただきました。

今回の大会において、当事者の選手・保護者様、並びに大会に参加された選手・保護者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことに、心からお詫び申し上げます。今後、このような事が起きないように、真摯に大会運営に取り組んでまいります。